

# 道母連だより

■第95号■

発行日/令和3(2021)年9月10日

発行/社会福祉法人 北海道母子福祉連合会

〒060-0003 札幌市中央区北一条東5丁目 北海道母子福祉センター内

電話 (011) 261-0447

●題字は山高しげり先生 ●印刷 機アイワード

## コロナ禍における 自立支援について



北海道保健福祉部  
子ども未来推進局長

竹澤 孝 夫

新型コロナウイルス感染症が国内、道内で発生、流行して一年半以上が経過しようとしています。

こうした中、今夏、東京五輪が開幕しましたが、開催延期・コロナ禍という、これまで誰も経験したことのない困難に立ち向かった日本選手が活躍する姿は、どんな環境でも「チャレンジ」することの大切さを教えてくれています。

北海道でも、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を講じて、感染拡大防止に取り組んでいます。感染の長期化に伴い、日常生活にも大きな影響が及んでおり、感染症の早期収束はもちろん、ポストコロナを見

据えた新たなライフスタイルの構築に向けて、私たちもチャレンジしていくことが必要だと感じています。

さて、道では、これまで、ひとり親家庭の自立支援に向けて、「相談支援」、「教育支援」、「生活支援」、「就業支援」、「経済的支援」の5つを施策の柱に、様々な取組を進めておりますが、社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の皆様方には、北海道母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営などを通じ、道内各地域で、ひとり親家庭の方々への積極的な支援活動にご尽力いただいていることに、紙面をお借りして感謝を申し上げます。

感染症の長期化により、ひとり親家庭における就業状況や生活環境も厳しさを増していることから、今後、各地域において相談機能を十分に確保し、支援を要する方々に寄り添いながら、きめ細かに対応するとともに、就労に必要な資格取得に「チャレンジ」する方を支援するための給付金など、様々な支援策をわかりやすくPRし、より多くの方に利用していただけるよう努めてまいります。

道としては、少しでも早く感染症を収束させることを優先しつつ、感染症の長期化による生活への影響などについても、会員の皆様から率直なご意見を伺う機会を設けながら、ひとり親家庭の方々はもとより、全ての道民の皆様が安心して子育てや働くことができるよう、取組を進めてまいりますので、引き続き会員の皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

## 新年度が

### スタートしました

理事長 畑 和子

長引く新型コロナウイルス感染症と、次年度の東北・北海道地区研修大会開催に向けて、理事全員留任し、監事、評議員、地区母連会長と共に体制を整えました。

一同、道母連発展のため努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍により、会議や研修会中止、延期となりみなさんの活動にも大きく影響を及ぼしていることと思いますが、マスクを着用しながらも、徐々に前進していきたいと考えます。

前理事長の渡部タミさんの偲ぶ会も、コロナ感染拡大が収束した後には開催いたし、みなさんと共に偲びたいと思っております。

各事業所は、感染を防ぎ、協力し合い創意工夫して力を注ぐ職員の努力には感謝するばかりです。

人とは距離を取らざるを得ませんが、会員やお子さんの気持ちにより添って、声かけ合い励まし合って、今を乗り切って、笑顔で会える日が近いこと信じて止みません。